

## 経済産業部

万国医療津梁の推進  
〜国際医療交流で新産業創出を〜

## POINT

「万国医療津梁協議会」を中心に、沖縄独自の国際医療交流を推進しています。

## 1. 沖縄独自の国際医療交流の支援

平成22年6月、政府が決定した「新成長戦略」の中で、医療機関ネットワークの構築による円滑な外国人患者の受入れや、アジア諸国などの医療機関等との連携に対する支援等を行う「国際医療交流」が国家プロジェクトとして示されました。

これを踏まえ、沖縄総合事務局経済産業部は、沖縄独自の国際医療交流に関する取組を支援しています。これは、国内外の来訪者に対して沖縄が持つ健康・長寿のイメージ、温暖な気候等の優位性を活かした医療、介護、福祉、癒し等の総合的なヘルスケアサービスの提供と高い水準にある我が国の医療技術を活かし、国際貢献も念頭に置いた医療・観光交流が主な活動となつていきます。

## 2. 万国医療津梁協議会による国際医療交流の推進

沖縄における国際医療交流を推進するための中核機関として、昨年6月に財団法人沖縄観光コンベンションビューローを事務局とした「万国医療津梁協議会」（会長・岩政輝男国立大学法人琉球大学学長、以下「万医協」）が設立されました。沖縄における国際医療交流は、「沖縄が医療・健康を通じて世界の懸け橋



設立総会

となる」という意を含め「万国医療津梁」と名付けられました。

万医協には、医療機関の他、健康サービス事業者、観光・旅行事業者、大学等の人材育成機関、行政機関等産・医・学・官の94者（昨年12月現在）が加盟。それぞれが自らの経営資源と強みを持ち寄り、医療・健康と観光の融合による新産業の創出等に取り組んでいます。（当局補助事業「沖縄地域国際医療交流ネットワーク活動事業」）

## ○沖縄県知事に対する制度提言

内閣府及び沖縄県では、新たな沖縄振興に関する法律及び計画を検討中ですが、万医協からはこれに関連させるよう、昨年7月、沖縄県仲

井眞知事に対し、より効果的な万国医療津梁の推進、新産業の創出に資するための4項目からなる制度要望が行われました。

## ○訪中ミッション団の派遣

万国医療津梁を進めるに当たっては、海外の医療機関、行政機関等との協力関係を築いていくことも必要です。そのため、万医協は昨年8月、会員によるミッション団を中国北京に派遣し、現地の観光業界、医療機関、行政機関等を対象としたセミナーや中国国務院衛生部、国家旅遊局等の中国中央政府等との意見交換等を行い、万国医療津梁をPRしました。本ミッションによる成果を踏まえつつ、今年度中には2回目のミッション団を派遣し医療機関、観光機関との具体的な協力関係構築を進めていきます。

## ○新たなサービスメニューの開発

万医協会員である様々な経済研究所が事業主体となり、県内の医療機関、観光事業者、宿泊施設等が連携し、新サービスの開発に取り組んでいます。医師の指導・助言の下で医療、食事療法等の面から適切な健康サービスを提供する「メディカルスパ」や沖縄に優位性があるとされる「リハビリテーション」に沖縄観光を融合させたメニュー開発

を検討し、事業化を目指しています。（当局補助事業「万国医療津梁（国際医療交流）創出事業」）

## 3. 終わりに

万国医療津梁は、平成32年度までの目標として、提供サービスを健診とりハビリテーションに絞り込んだ市場規模と経済波及効果の合計を年間1420億円、必要雇用量を1万人超と推計しています。沖縄総合事務局経済産業部としては、この目標の達成に向け万医協の活動を精力的に支援します。グローバルな沖縄経済の実現に向け万医協の活動に期待が高まっています。



北京セミナー